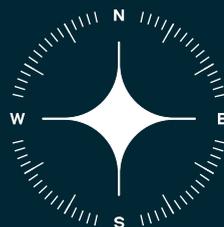


VOLKSWAGEN GROUP

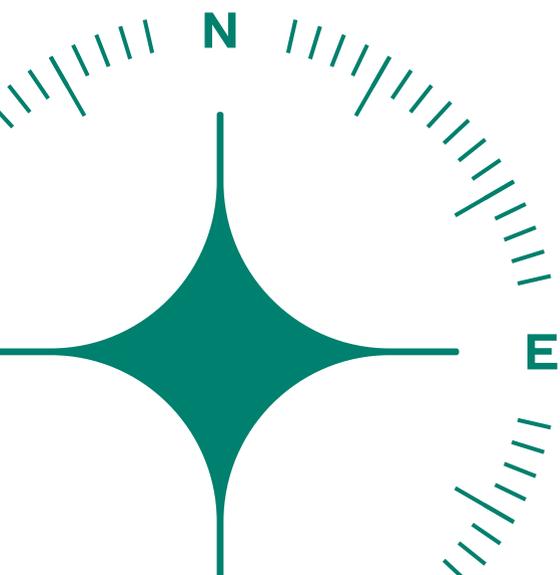
OUR CODE

行動規範

フォルクスワーゲングループジャパン株式会社



目次



私たちはひとつ

私たちは 責任を持った個人です

- 1.1 人権
- 1.2 倫理的リーダーシップ
- 1.3 ダイバーシティ、機会均等、
平等な参画
- 1.4 スピークアップ
- 1.5 協力

私たちは 信頼できる仲間です

- 2.1 労働安全衛生
- 2.2 会社資産の取扱い
- 2.3 情報、ノウハウ、
知的財産のセキュリティと保護

私たちは 責任あるパートナーです

- 3.1 利益相反
- 3.2 利益の授受
- 3.3 汚職の禁止
- 3.4 インサイダー取引の禁止
- 3.5 マネーロンダリングおよび
テロ資金供与の禁止
- 3.6 公正かつ自由な競争
- 3.7 ビジネスパートナー、調達および販売
- 3.8 会計および財務報告
- 3.9 輸出管理

私たちは 良き企業市民です

- 4.1 コミュニケーションとマーケティング
- 4.2 政治的ロビー活動
- 4.3 公務員への対応
- 4.4 寄付とソーシャルスポンサーシップ
- 4.5 租税と関税
- 4.6 データ保護
- 4.7 ITセキュリティ
- 4.8 製品コンプライアンス
- 4.9 環境保護

サポート

グループ エッセンシャル

グループエッセンシャルは、すべてのブランドと会社の
すべての人々をつなぐ、グループの価値観の基盤です。
グループエッセンシャルは、
私たちの企業文化の根幹をなすものです。

私たちは社会や環境に対して
責任を担います。

私たちは誠実に行動し、
間違いがあれば指摘します。

私たちは未来を切り拓きます。

IV

私たちはダイバーシティを
推進します。

私たちは自分たちの仕事に
誇りを持っています。

「私」ではなく「私たち」

VI

私たちは約束を守ります。

VII

私たちはひとつ

インテグリティと
コンプライアンスの基本

私たちはひとつ

フォルクスワーゲングループ行動規範（OUR CODE）は、インテグリティをもって行動し、グループの規程を遵守して行動するための倫理的および会社の価値観に沿った基盤です。OUR CODEは、世界中のすべてのブランド・グループ会社の全従業員に対して拘束力を持つガイドラインです。

私たちはともに、コラボレーション、職場、環境、持続可能性、そして社会に対する責任を担っています。私たちは互いに、そして他の誰に対しても、敬意と公平さをもって平等な立場で接します。時間や経済的、社会的なプレッシャーに関係なく、私たちは確固たる姿勢で、勇気を持って価値観や原則を貫きます。

私たちの会社、会社の製品、サービス、イノベーションに対する信頼を育むためには、従業員、経営陣、管理職など、私たち一人ひとりが誠実に行動することが不可欠であると確信しています。そのため、あらゆる業務分野、あらゆる役割において私たちが下す決定は、会社の価値観に従い、国内外の法令や社内の自発的な約束を遵守しなければなりません。これは、私たちの会社の継続的な進化だけでなく、人工知能などの革新的な技術の選択、調達、開発、利用にも当てはまります。透明性は私たちにとって重要であり、革新的なテクノロジーへのアプローチは、ユーザーの権利と安全性が尊重されることを前提とします。

行動規範の違反は許容されません。規程に違反した者はそれに見合った結果に至ることを忘れてはなりません。そうならないためにアドバイスとサポートを求め、ともに、私たちの会社と会社の価値観、そしてすべてのブランドのレピュテーションを守っています。

私たち一人ひとりに行動規範（OUR CODE）を遵守するという個人の責任があります。行動規範の原則をよく理解し、日々の意思決定においてこの原則に従うことは、私たち全員の責務です。フォルクスワーゲングループが前進を続けるために、人々と環境を守るために、そして未来の世代のために。

私たちは責任を持った 個人です

会社の価値観、原則、規程を受け入れ、互いに信頼し合い、
誠実で公正な交流を促進します。私たち皆が、ロールモデルです。

- 1.1 人権
- 1.2 倫理的リーダーシップ
- 1.3 ダイバーシティ、機会均等、
平等な参画
- 1.4 スピークアップ
- 1.5 協力



1.1 人権

人権に責任を持ちます

企業原則

人権の尊重は最も重要です。持続可能な経済活動は、倫理的に、インテグリティをもって行動することによってのみ可能であると確信しています。企業活動の枠組みの中で、私たちは人権に関する責任に全力で取り組んでいます。フォルクスワーゲングループ経営委員会、フォルクスワーゲングループ欧州労使協議会、フォルクスワーゲングループグローバル労使協議会は、「社会憲章」として知られる「社会権、労使関係及びビジネスと人権に関するフォルクスワーゲングループの宣言」でこの責任を果たすことを約束しています。

私たちは、主要な国際協定や宣言、特に国際人権章典と国際労働機関（ILO）の中核的な労働基準に対して取り組むことを約束しています。私たちの企業活動は、国連ビジネスと人権に関する指導原則（国連グローバルコンパクト）に従っており、国連グローバルコンパクトは私たちの行動の最も重要な基礎を決定しています。

私にできること

私は従業員として、人権尊重にも貢献することができます。私は人権尊重を基本的なガイドラインと捉え、身の回りで起きる人権侵害に対して気を配るようにします。

自分が働く環境の中で人権侵害の懸念が生じた場合、それを防止し、直ちにやめさせます。必要に応じて、上司に報告するか、「サポート」の章に記載されている窓口に連絡します。



私たちは責任を持った個人です

例

ある人が、とあるサプライヤーが従業員に正しい賃金を支払っておらず、また週80時間労働を容認し労働法に違反しているという情報を寄せてきました。さらに、そのサプライヤーの一部の従業員の給与は最低賃金を下回っています。

人権侵害の懸念を上司と内部通報窓口に通知してください。会社は、通知された内容をより詳細に検討し、必要な措置を講じます。これには、当該サプライヤーとの取引関係の解除が含まれる場合があります。

1.2 倫理的リーダーシップ

私たちの価値観に根差し、率先します

企業原則

私たちは、会社の価値観、原則、規程を受け入れ、個人と会社の両方の成長に責任を持ち、模範としてリードしていきます。適切、公正かつ責任ある方法で職務を遂行し、権限と役割を管理します。これは、特に既存の雇用関係や上下関係が悪用される可能性があるときには、職場における個人的な関係にも当てはまります。私たちの決定は常に透明性があり、適切な判断を示し、インテグリティに導かれ、会社と従業員、ビジネスパートナー、株主の最善の利益のために行われます。会社の価値観に根差したリーダーシップを通じて、会社への信頼を強固なものにし、変化を形作ります。

私にできること

私は、社内だけでなく、より広い意味でのロールモデルとしての役割を自覚しています。私の行動や行為は、常にインテグリティと責任感によって導かれ、この行動規範、私たちの会社の価値観、原則、規程に基づいています。私は信頼、誠実さ、公正さの精神で互いに交流することを支持し、異なる視点を受け容れます。

例

あなたのチームのメンバーは、プロジェクトをスケジュールどおりに完了するため、プロセスの1つのステップを省略したいと考えています。チームメンバーはそのステップが必要ないと言います。

どのようなプレッシャーがあっても、有効な規程に従わなければならないことを指摘します。要求事項と会社の価値観に適合する解決策と一緒に探します。あなたは、関係者全員と協力してプロセスを修正し、可能であれば、より無駄のないものにすることを約束します。あなたは管理職として、またチームメンバーとして、そのことに取り組みます。

1.3 ダイバーシティ、機会均等、平等な参画

私たちはダイバーシティを推進します。

企業原則

ダイバーシティ・機会均等・平等な参画は、公平に、差別なく、敬意を持って共存するための重要な原則です。私たちは、協調、寛容、相互尊重の精神に基づく協力を信じています。労働力のダイバーシティを推進し、インクルーシブな職場環境をサポートします。

私たちはすべての人に平等な機会を提供し、あらゆる種類の差別を拒絶します。これは特に、民族的または社会的出自、肌の色、生物学的性差、国籍、言語、宗教、イデオロギー、年齢、身体的または精神的障がい、性自認、性的指向、政治的見解、または法律で保護されているその他の特性を理由とした不平等な扱いがあてはまります。私たちはダイバーシティを実践し、インクルージョンを積極的に支援し、全従業員の参画を促すだけでなく、従業員一人ひとりの個性を育む環境を整えます。

私たちの会社の従業員は、各々の資格とスキルに基づいて選抜され、雇用され、人材開発されます。

私にできること

私はダイバーシティ、機会均等、平等な参画の原則を遵守し、周りの人々にも同じようにすることを推奨します。

不平等な扱い、ハラスメント、いじめなど、機会均等・平等な参画の原則に反する行為を目にした場合、関わっている人々にそれが不正行為であることに気づかせます。自分がその出来事に直接影響を与える立場にない場合は、すぐに人事部門にその旨を通知するか、「サポート」の章に記載されている窓口で連絡します。

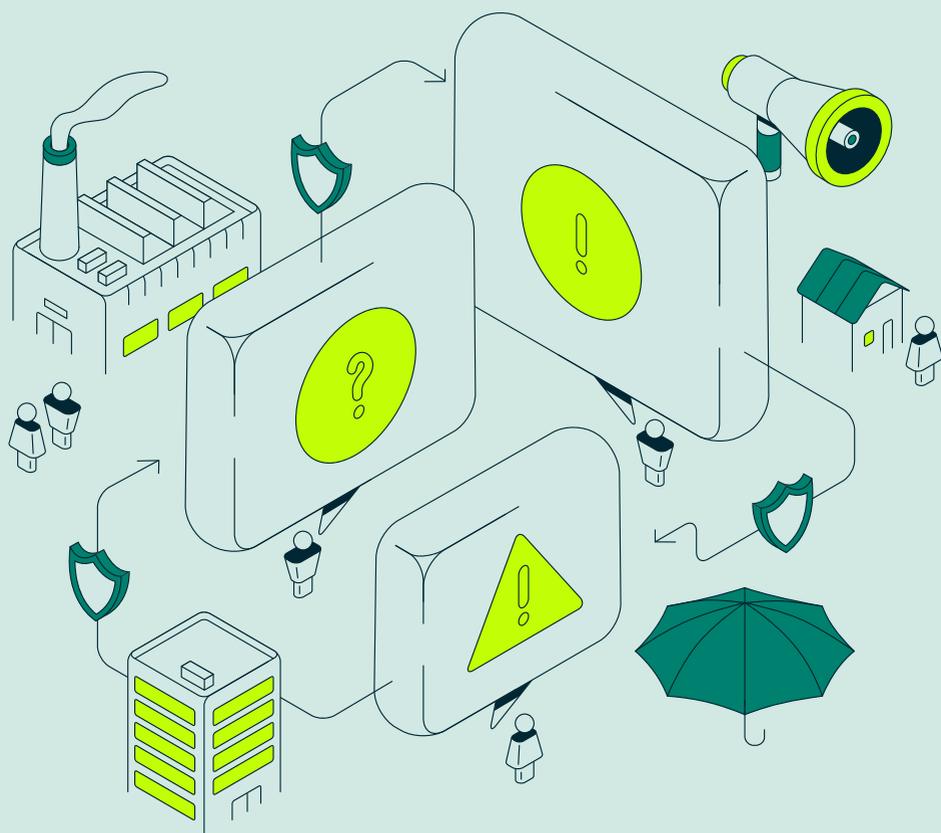
例

一緒に働いている人の中に、国籍や性別、性的指向、肌の色などを理由に、人を見下すような発言をする人がいました。

この差別についてすぐにスピークアップするか、「サポート」の章に記載されている窓口ですぐに連絡してください。

1.4 スピークアップ

何かがおかしいと感じたときに スピークアップします



企業原則

私たちは間違いから学び、継続的に改善したいと考えています。だからこそ、私たちは間違っただけについて、あるいは何かおかしいと感じたらすぐに、たとえそれが気まずく不快なことであっても、スピークアップします。そのために、私たちはインテグリティ文化を醸成し、チーム内および上司との対話を積極的に推進しています。質問や問題がある場合は、アドバイスやサポートを求めることができます。私たちはこの文化に貢献するすべての人を守ります。

私たちにとって、常に社内外の規程を遵守することは当然のことです。私たちは不正行為を容認しません。見て見ぬふりをすることは決して正しい解決策ではないと信じています。そのため、不正行為や規程違反に迅速かつ適切に対応します。

管理職は、規程や規則を遵守した行動を通じて常に模範としてリードします。従業員が規程を遵守するようサポートし、間違いを指摘し改善していく文化を促進し、違反行為の解決を徹底することによって、管理職はこの重要な役割を果たします。

私にできること

質問、懸念、または社内外の規則違反の合理的な疑いがあった場合の私の最初の相談先は上司ですが、代わりに、対象分野の専門家にアドバイスを求めることができます。人事部およびコンプライアンスもサポートを提供できます。さらに、重大な規則違反の合理的な疑いがある場合は、内部通報制度を通じて報告しなくてはなりません。管理職レベルの従業員の場合、こうした懸念を報告する義務があります。

例

上司は、あなたの休み時間に上司の親族のために運転をしてほしい、と頼み事をしてきました。上司の頼みを聞くのは、断った場合に関係性が悪くなることを恐れているからです。

不正行為の可能性に気付いた場合は、直ちにスピークアップし、人事部に通知するか、内部通報制度を利用してください。

1.5 協力

緊密なパートナーシップ (建設的、協力的、公正) で協力します

私たちは、すべての従業員が労働組合を設立する基本的権利を認めています。

私たちは従業員の代表者と率直かつ信頼をもって協力し、建設的かつ協力的な対話を行い、公平な利害の均衡を保つよう努力することを約束します。従業員の代表者とのプロフェッショナルな対応は、私たちの企業文化の一部です。

グループとその従業員の未来を守ることは、経済的および技術的競争力を確保するという目標に基づき、協力的な対立関係の管理と社会的コミットメントの精神で達成されます。経済効率と雇用保護は、同等の地位にあり、共通の目標です。

私たちは信頼できる 仲間です

私たちは職場での責任を真剣に受け止め、
チーム、会社、そしてお客様にとって価値のあるものを守ります。

- 2.1 労働安全衛生
- 2.2 会社資産の取扱い
- 2.3 情報、ノウハウ、
知的財産のセキュリティと保護

2.1 労働安全衛生

健康と安全を尊重し、 促進します

企業原則

私たちは、従業員の安全と健康に対する責任を非常に真剣に受け止めています。国内法令と会社の労働安全衛生規程に沿って労働安全衛生を推進します。

すべての従業員の労働安全衛生は、私たちの会社の持続可能な未来を確保し、私たちの会社を魅力的な雇用主として位置付けるための基本です。労働災害や業務上の疾病は、一般的に予防可能なものです。そのため、私たちは心身の健康の保護と促進を確保することを目指しています。そのためには全員の協力と参加が必要です。

私にできること

労働安全衛生に関する規則や指示を遵守します。私は自分自身、私のチームや第三者の健康と安全を危険にさらしません。私は彼らをサポートし、見てみぬふりをせず、助けを受け入れます。

私は、責任範囲において、安全な職場環境を確保するために、あらゆる適切な措置と法定措置を講じます。私は危険な行為や状況に注意喚起します。予防医療や健康増進活動に自主的に参加し、健康の保持・増進に積極的に貢献します。私は指示に従い、トレーニングに参加し、日々の行動をそれらに合わせます。

例

部署内のデバイスに電気的な欠陥があることに気づきました。

デバイスをアクティブにせず、担当上司に通知し、対策を調整します。電気機器を自分で修理することは危険であるため、許可されていません。

2.2 会社資産の取扱い

有形・無形の資産を 保護します

企業原則

私たちは、会社の有形・無形の資産を尊重し、業務目的以外には使用せず、会社の事業目的の達成のみに使用します。例外として社内規程やガイドラインで私的使用が認められている場合があります。

私にできること

私は、会社の規程に従い、会社資産の取り扱いに注意を払います。

例

ハイエンドソフトウェアが、業務用ラップトップにインストールされています。それを知っている友人が、そのプログラムを私的な目的で使うため、ラップトップを貸してこないかと頼んできました。

あなたはノーと言います。会社の資産やITは第三者に利用させてはなりません。

2.3 情報、ノウハウ、 知的財産のセキュリティと保護

情報と知的財産を 保護します

企業原則

私たちは会社のノウハウの価値を認識し、これを保護するために細心の注意を払います。また、競合他社、ビジネスパートナーおよびその他の第三者の知的財産も尊重します。

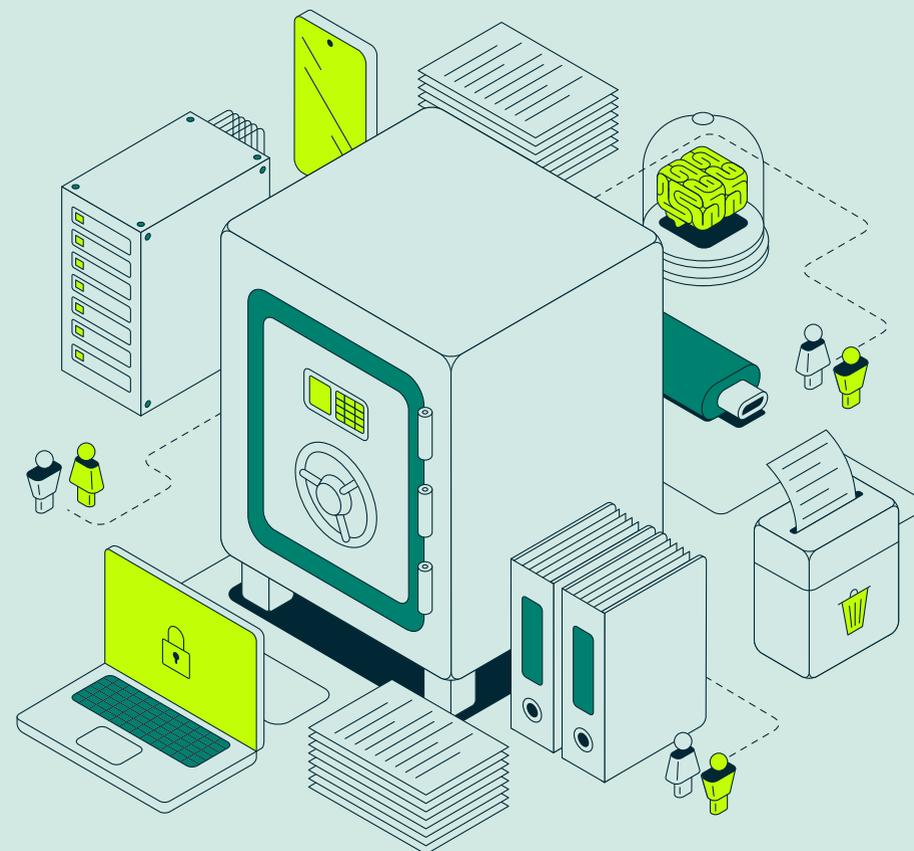
私にできること

私は会社のすべての情報を注意深く取り扱い、許可のない人に開示することはありません。技術ノウハウ、特許、営業および企業秘密に関する情報には、特に注意を払います。

例

あなたは、ある革新的な技術の開発に携わっています。あなたは自身の開発について社内の各拠点で発表することになっており、そのための資料を保存したラップトップを持って移動します。各拠点に向かう飛行機や電車の中で、資料に目を通すつもりです。

競争上の深刻な不利益につながる恐れがあるため、グループに帰属する機密情報が、誰の手にも渡らないようにしてください。第三者がアクセスしたり、メモを取ったりすることが可能な場所で、この種の情報を閲覧しないでください。



私たちは責任ある パートナーです

信頼は私たちの最大の資産です。だからこそ、私たちは誠実で信頼でき、透明で公正なビジネス関係を重視しています。

- 3.1 利益相反
- 3.2 利益の授受
- 3.3 汚職の禁止
- 3.4 インサイダー取引の禁止
- 3.5 マネーロンダリングおよびテロ資金供与の禁止
- 3.6 公正かつ自由な競争
- 3.7 ビジネスパートナー、調達および販売
- 3.8 会計および財務報告
- 3.9 輸出管理

3.1 利益相反

事実に基づいて決定を下し、利益相反を回避します



企業原則

私たちはインテグリティをもって行動します。そのため、職務を遂行する際に潜在的な利益相反を回避し、利益相反にあたる可能性がある場合や、利益相反にみえる可能性がある場合、これを認識し、開示することが特に重要です。従業員の個人的な経済的利益が業務上の意思決定に影響を与える、または影響を与える可能性がある場合、潜在的な利益相反がすでに存在します。これは、職場での個人的な関係、特に既存の雇用関係や階層的依存関係にも当てはまります。

利益相反は、従業員自身またはその関係者を通じて、特に他社への関与、副業、メンバーシップに関連して、または従業員の個人的な経済状況に関連して発生する可能性があります。これに関連して、グループ内の他社やサプライヤーなどの第三者との取引関係も関連する場合があります。

私にできること

利益相反の可能性がある、またはそのおそれがあると判断した場合は、直ちに上司および関連する人事・コンプライアンス部門に通知し、事実関係を開示します。利益相反が存在する場合は、会社の利益を守るための解決策を共同で模索します。

例

上司から、複数のITコンサルタント会社からの入札書類を確認するように依頼されました。あなたは、最も好条件の応札が、親友が所有する会社からのものであることを発見しました。

上司に状況を報告し、利益相反の可能性を文書化し、利益相反に見えることを避けるため、意思決定への関与を辞退してください。

3.2 利益の授受

すべての利益の授受を慎重に確認します

企業原則

私たちの会社の製品とサービスは、私たちの会社が何者であるかを定義します。したがって、贈り物や招待状の形での利益は、それが適切である場合にのみ許可されます。

贈答品、招待状、ビジネス会食の取り扱いに関する私たちの会社の社内規程では、適切な利益の種類および利益を授受する場合に必要な手順が定められています。

私にできること

私は、贈答品、招待状、ビジネス会食の取り扱いに関する社内規程をよく理解し、これを厳守します。

私は自分の行動が適切かどうか、そしてそれがビジネス上の意思決定に影響を与えるかどうかをチェックします。

例

あなたは購買部門で働いています。サプライヤーから、数日間のスポーツイベントへの招待状が贈られてきました。このサプライヤーは、現在進行中の入札の応札会社の1つです。

サプライヤーから購買部門従業員への招待状や贈答品は、常に注意深くに精査する必要があります。特に入札期間中は、不当な影響力を与える恐れがあるため、参加者から何らかの利益を受けることは認められません。懸念がある場合は上司に連絡し、必要に応じてコンプライアンス部門に連絡してください。



3.3 汚職の禁止

私たちは贈収賄をしません

企業原則

汚職は世界中で禁止されています。

汚職とは、誰かが自分自身または第三者の利益を得るために職業上の地位を悪用し、それによって他者に害を及ぼすことを意味します。

特に公務員と取引する場合、招待や贈答品などの利益の授受は汚職の証拠となる可能性があります。したがって、利益の授受は取引において例外でなくてはなりません。利益の授受は、社内規程および適用法の枠組み内でのみ可能です。

私にできること

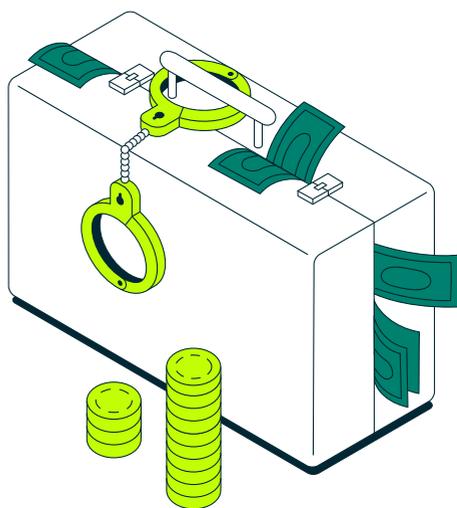
私は贈収賄をせず、不当な影響力があるように見えることすら避けます。贈答品や招待を授受する前に、社内規程を確認して常に情報を把握しています。

汚職に関する兆候があった場合は、すぐに「サポート」の章に記載されている連絡先に通知します。

例

あなたはグループ会社の販売を担当しており、今年の収益目標を上回りたいと考えています。潜在顧客が入札を募っている大きな契約へ入札を準備しています。その顧客側の意思決定者は、それなりの対価と引き換えに、あなたの会社が落札するのに有利になるよう働きかけることを申し出ました。

これは汚職行為です。直ちに上司またはコンプライアンス部門に連絡してください。



3.4 インサイダー取引の禁止

インサイダー情報を漏えいしません

企業原則

私たちは、株式の値動きに関する情報を取り扱う際は資本市場の要件に従い、インサイダー取引は一切許容しません。インサイダー情報とは、公開された場合に、それが関係する株などの金融商品の価格に大きな影響が及ぶことが見込まれる、未公開の正確な情報を指します。私たちは、インサイダーに関連するプロジェクトおよびプロセスに関連する情報を、適用される社内規程に基づいて社内でのみ使用するとともに、そのような情報を配偶者など家族を含む部外者に漏えいさせることはありません。

私にできること

私は、インサイダー取引にかかわったり、第三者にそれを勧めたり、または第三者をインサイダー取引に誘導したりすることはありません。また、通常の業務上必要な場合を除いて内部情報を漏らさず、関連する社内規程を遵守します。私は、適用される社内規程をよく理解することを約束します。

内部情報を知りうる立場にある場合でも、その情報に基づいて金融商品を売買することはありません。これは、フォルクスワーゲングループに属する上場会社の株式やその金融派生商品の取引のみならず、サプライヤーの金融商品等の取引全般にも当てはまります。

例

あなたは仕事を通して、世界的に有名な大企業の買収がまもなく発表されることを知りました。あなたは業務上、この取引が発表されると当社の株価が大幅に上昇すると知らされています。あなたは友人が現在保有する当社の株式の売却を検討していることを知っています。あなたは友人に株式の売却を少し待つよう伝えようと思っています。

いかなる場合でも、友人に情報を漏らしてはいけません。あなたが知った情報は未公開の内部情報であるため、この情報を他人に教えることは、いかなる状況でも許されません。このような情報を直接的または間接的に伝達することは、訴追の対象となります。

3.6 公正かつ自由な競争

私たちは公正で自由な競争に努めます

企業原則

自由で公正な競争は、世界中で有効な反トラスト法で保護されています。この法律を遵守することで、健全な市場競争を確立し、すべての市場関係者にとっての利益になります。

具体的には、自由競争を妨げたり制限したりすることを意図した競合社間の合意および談合は、禁止されています。

これには、特に価格と価格構成要素、取引条件、顧客グループとテリトリーの分割、技術革新の制限に関する交換が含まれます。さらに、競争上の機微情報の交換も禁止されています。市場での支配的な地位の濫用も禁止されています。さらに、合併にあたっての連携や取引に関しては、合併管理手続きを適切に実施することが求められます。

反競争的行為は、私たちの会社のレピュテーションを著しく毀損するおそれがあるだけでなく、多額の罰金、罰則、損害賠償に至る可能性があります。

私たちは、実力と市場経済の原理、ならびに自由かつ制約のない競争のみに基づいて事業活動を行います。私たちは、常に法令に従い、倫理的原則を遵守しながら、競合他社と比較して自社を評価する必要があります。

私たちは、競合他社、サプライヤーまたはお客様と、反競争的な合意をすることはありません。また、私たちの会社が支配的市場地位を保持している場合、その地位を濫用することはありません。

私たちは、正規販売パートナーとの取引において、販売制度に関わる独占禁止関連法規を遵守します。

私にできること

私は、競合他社と接触する場合、情報提供者側の現在のまたは将来の事業活動についての結果が推測できるような情報を、一切開示または受領しないよう徹底します。

競合他社との話し合いやその他の接触では、お互いの競争に関わる可能性のある話題を避けます。



例

あなたはある展示会で競合他社の従業員と話をしていました。しばらく話をするうちに、将来の事業計画に関する情報を探られていることに気づきました。その見返りに、相手は自分の会社の同様の情報を教えてくれると提案しています。

直ちに、あなたがそのような問題については

話さないことを、相手に明確に示してください。企業秘密の不正開示とは別に、この種の会話も競争法および反トラスト法の違反であり、あなた個人、私たちのグループ、ならびにその競合他社およびその従業員に対して、重大な結果をもたらされる可能性があります。会話を文書に記録し、直ちにコンプライアンス部門に相談してください。

3.7 ビジネスパートナー、調達および販売

私たちは取引相手を慎重に確認します

企業原則

客観的な基準に基づいてサプライヤー、サービスプロバイダー、パートナー企業を慎重に選定し、競争を活用します。ビジネスパートナーとの協力は、法的要件、社内規程、ガイドラインに沿ったものに限られます。

私たちは、取引関係を結ぶ前に潜在的なビジネスパートナーのインテグリティを慎重に確認し、社内規程に定められたプロセスと連絡手順に従います。

製品やサービスを購入または販売する際には、適用される社内規程に従って、適切なタイミングで関連部門をプロセスに関与させます。

私にできること

私は、潜在的なビジネスパートナーのインテグリティがビジネス関係を結ぶ前にチェックされていることをよく理解し、社内規程に定められたプロセスと連絡手順に従います。サプライヤー、サービスプロバイダー、パートナー企業を、客観的な理由なく有利に扱わず、競争を促進します。

私は、市場および代替サプライヤーに関する情報を事前に収集することなく、いかなる製品またはサービスも購入しません。私は、適用される調達ガイドラインに従い、有効な購買プロセスに沿って、計画されたサービスの提供および実行の前の、早い段階で購買部門を関与させます。

私は、実際に提供されたサービスに対してのみ対価が支払われ、その支払いが提供されたサービスに見合ったものであることを確認します。

また、グループ会社に委託する前に、関連する社内規程を遵守します。

例

購買部門が機械の入札募集を行い、複数のサプライヤー候補を特定しました。すべての評価基準でトップにならなかったサプライヤーと契約することになりました。サプライヤーの営業部長は、購買担当者の一人と関係があり、その事実を開示していませんでした。

利益相反を示唆する不当な優遇措置を示す事実があります。直ちに上司に連絡し、内部通報制度に通報してください。

3.8 会計および財務報告

私たちは正しい財務会計と財務報告をします

企業原則

私たちは、適正な会計および財務報告に関する法令を厳格に遵守しています。透明性と正確性は当社の最優先事項であり、不正は私たちの会社のみならず責任者にも重大な結果をもたらしかねないからです。そのため、私たちはすべての資本市場関係者に財務状況と事業展開を定期的に報告しています。また、国内外の会計規則に従い、定期的に財務諸表を公表しています。

私にできること

私は、すべての業務財務データが会計システムに正確かつ迅速に入力されるよう、プロセスを整理します。データの正しい記録について質問がある場合は、上司またはファイナンス部門に問い合わせます。

例

あなたは、新しい機器を緊急で必要としています。しかし、あなたの部門は今年度予算をすでに使い果たしています。それにもかかわらず、あなたは、機器をすぐに調達し、費用は予算が更新される来年度の帳簿に記入することを検討しています。

このような行動は取らないでください。帳簿への記入は常に正確でなければなりません。不正確な帳簿への記入は、会社または従業員個人に重大な結果をもたらす可能性があります。

3.9 輸出管理

国境を超えた貿易に関する すべての規制を確実に遵守します



企業原則

私たちは、輸出管理と制裁義務を果たすという社会的責任を認識し、関連する法律を遵守することを約束します。

国境を越えたビジネスプロセスおよび取引は、輸出管理規制に基づく禁止、制限、承認要件、またはその他の監視措置の対象となる場合があります。これらは、関連するビジネスパートナー、物品、国、資金源、または使用目的に関連する場合があります。これは、物品や製品だけでなく、テクノロジーやソフトウェアにも当てはまります。さらに、一時的な国境を越えた移動や、たとえば電子メールやクラウドなどによる技術情報の送信にも適用されます。また、特定の輸入品は輸出規制の対象となる場合があります。

私たちは、適用される輸出管理規制および関連する社内規程を遵守します。

私にできること

私は、輸出管理に関する社内の情報や規程をよく理解しているかどうかを定期的に確認する責任があります。そうすることで、日々の業務が輸出管理規制の対象になるかどうかを常に把握しています。

私は、担当範囲において輸出管理規制に違反していることに気づいた場合には、直ちにその防止または是正のためにあらゆる可能な措置を講じます。

疑問がある場合は、関連する輸出管理担当者にアドバイスを求めます。

例

長年のパートナー企業にソフトウェアコンポーネントの開発を依頼します。コスト圧力を相殺するために、パートナーは、開発活動の一部をEU外の子会社に委託することを提案しています。子会社は、フォルクスワーゲングループ輸出管理部門によって定義された国の一覧であるリストAにある国に拠点を置いています。

国内での特定の活動を禁止する禁輸規制がある場合があります。合意する前に、社内および輸出管理当局と調整する必要があります。

関連する輸出管理部門に連絡して、次のステップを調整します。

私たちは良き 企業市民です

私たちは社会に対して責任を負い、持続可能な発展に貢献します。

- 4.1 コミュニケーションとマーケティング
- 4.2 政治的ロビー活動
- 4.3 公務員への対応
- 4.4 寄付とソーシャルスポンサーシップ
- 4.5 租税と関税
- 4.6 データ保護
- 4.7 ITセキュリティ
- 4.8 製品コンプライアンス
- 4.9 環境保護

4.1 コミュニケーションとマーケティング

私たちは明確かつ敬意を持って コミュニケーションします

企業原則

私たちは、お客様、投資家、その他のステークホルダーからの信頼を維持するために、明確で一貫性のあるコミュニケーションを徹底します。計画されたコミュニケーションやマーケティングの手段を約束して実行する前に、そのような手段をまず関連部門と調整しなければなりません。思慮深さと敬意のある相互対話は、私たちにとって第二の性質です。

私にできること

私は自ら会社の公式声明を出さず、そうした要請があれば常にコミュニケーション部門に確認します。公共イベント、商業イベント、文化イベントにおいて、またはインターネット上で何らかのコメントをする場合、私は個人的な意見のみを述べていることを明確にします。私は、ソーシャルネットワークでの適切な行動については、会社のソーシャルメディアガイドラインを参照します。

例

あなたはインターネットでアジアの生産方法を批判する誰かからのコメントを読み、そのコメントが完全に根拠がないことを知っています。

すぐに事実関係を述べ、訂正したいと思うかもしれませんが、まず関連部門に連絡をしてください。なぜなら、その部門はこれらのコメントに包括的かつ適切に対応する役割を持っているためです。

4.2 政治的ロビー活動

私たちは、責任ある明確な方法で 会社の立場を代表します

企業原則

社会の一員として、政治的ロビー活動を通じて立法計画などの意思決定プロセスにおいて、会社の立場を具体的に促進することができます。私たちは、一元的に、かつ公開性、説明責任、責任の原則に沿って、政治的ロビー活動を行います。もちろん、私たちと政党や利益団体との交流は、中立の原則に基づきます。政治や立法に不当な影響を与えることは許されません。

私にできること

私は、権限が与えられていない場合、会社を代表して政治的決定に介入しようとはしません。その権限を与えられている場合でも、職務の遂行にあたり、関連する社内規程を遵守します。

例

国土交通省で働いていて、自動車業界に影響を与える法案について意見を求めている親戚がいます。その人物は、この法律に関するグループの立場をあなたに尋ねてきました。

コメントしないでください。会社における政治的ロビー活動は、一元的に調整され、オープンかつ透明性を持って行われます。このようなロビー活動の正式な窓口は、渉外部門です。

4.3 公務員への対応

公務員への対応には注意を払います

企業原則

国内法および国際法の見地から、公務員と取引する際は汚職のリスクが高まります。これは、利益の授受に関する枠組みを定めた社内規程で考慮されています。特に、私たちは、ファシリテーションペイメント、すなわち、公務員の通常のまたはルーチン業務を円滑にまたは早く進めてもらうための支払いを行いません。

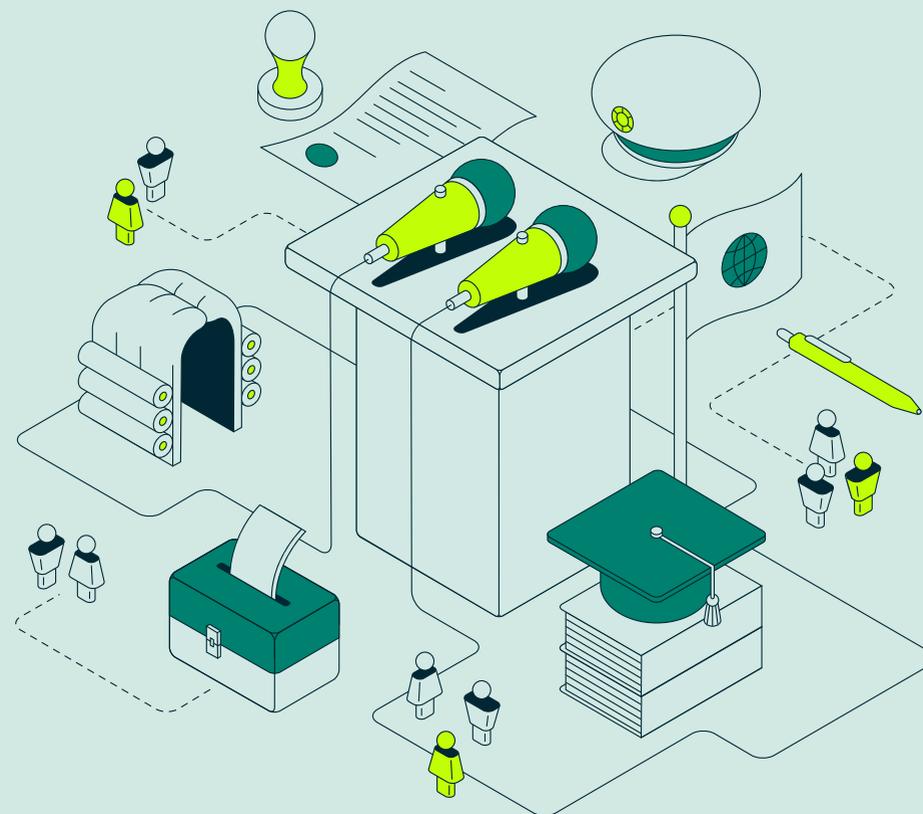
私にできること

公務員と取引する際に汚職のリスクが高まることを理解しています。そして、私は適用される特別な規程を十分理解しています。私は、これについてコンプライアンス部門に相談する義務があることも理解しています。

例

あなたは税関との輸入ライセンスの取り扱いについての会社の代表者です。税関職員は、プロセス全体を通してサポートをしてくれています。手続きが完了したら、適切なビジネスギフトで感謝の意を表したいと思います。

その適切性にかかわらず、公務員によるサービスの提供に対する利益の受け渡しは控えてください。



私たちは良き企業市民です

4.4 寄付とソーシャルスポンサーシップ

私たちはさまざまな方法で社会にコミットします

企業原則

私たちは、私たちのレピュテーションや社会的イメージの向上を目的として、寄付（見返りを期待しない自発的な供与）をし、スポンサーシップ（社会的目的のために契約で合意した見返りに基づく供与）を行います。利益相反を回避し、社内での標準的な行動を徹底するために、寄付およびスポンサーシップは、それぞれの法的枠組みの中で、グループブランドおよび社内でも適用される規程に従ってのみ認められます。

寄付とスポンサーシップは、透明な承認プロセスを経た場合に限り認められます。私たちは、科学研究、慈善活動、文化的または宗教的な目的のために金銭および非金銭の寄付を行います。さらに、慈善団体または税制上の優遇措置があると認められた機関にのみ寄付をします。

私にできること

特定のスポンサーシップがについて支援する価値があると考えられる場合、まず、コミュニケーション、渉外、人事など、社内の適切な部門に相談します。

寄付の供与は透明に行われなければならない、寄付の目的、受取人、財務管理が文書化され、検証可能でなければなりません。私は、社内プロセスおよび一般条件を遵守し、当社のレピュテーションを損なうような寄付行為はしません。

例

あなたはあるサッカークラブのファンであり、企業スポンサーシップの形で経済的サポートをしたいと考えています。

スポンサーシップの決定は、該当するすべてのプロセスに従って、すべての関連部門と協議し、客観的な基準に基づいて行われます。あなたのクラブまたは他のスポンサー受領者が当社のソーシャルスポンサー基準を満たしていないのではないかと懸念がある場合は、その懸念をコンプライアンス部門に伝えてください。

4.5 租税と関税

私たちは租税と関税に関する規制を細心の注意をもって遵守します

企業原則

グローバル企業として、私たちは外国貿易、税金、関税に関する義務を果たすという社会的責任を認識しており、国内および国際的な法律の遵守を明確に支持しています。

私にできること

私は、グループ各社が納付すべき租税や関税が正しく、迅速かつ完全に計算され、報告で開示され、関連する財政当局に支払われるように、内部構造とプロセスを設計します。

私の担当分野で租税および関税の規制違反に関する情報がある場合、私はこの違反を防止または停止するためにできる限りのあらゆる措置を講じます。それが不可能な場合は、適切な税務・関税の担当者に連絡します。

例

あなたは、保守費などの一般管理費や生産コストなどの特定の取引を、法定の財務諸表に入力する業務を担当しています。あるプロジェクトが会計年度の初期段階で、一定のコントローリング・パラメータをいくつか超過しています。そのため、あなたは、間違いなく投資に関連しており、生産コストとして資産計上すべき取引を、保守費として計上するよう指示されました。

帳簿への記入は法律に従って行ってください。このような会計記録が納税申告の基になるため、すべての商取引は商法および税法に従って正確に報告されなければなりません。会計上の誤りは間違った税務申告の原因となり、税法および関税法に基づいて会社および責任者にとって、重大な結果に至る可能性があります。

4.6 データ保護

私たちはデータを慎重に取り扱います



企業原則

私たちは、責任を持って、安全かつ透明性をもってデータを扱うことを非常に重要視しています。私たちは、個人データの収集、処理、使用、保存に際しては、法律を遵守します。私たちは、お客様、従業員（元従業員や応募者を含む）、サプライヤーや開発パートナーなどのパートナーの個人データを保護します。

私にできること

私は個人データを機密に取り扱い、私の行動は明確かつ透明です。私は自分の行動とプロセスにデータ保護を統合し、責任範囲内のすべてのデータのセキュリティを確保します。私は責任を持ち、バリューチェーン全体で安全なデータ交換に注意を払います。疑問がある場合は、上司または関連するデータ保護部門に連絡します。

例

広範なメール広告キャンペーンを開始したいと考えています。カスタマーサービスに連絡してきたお客様のメールアドレスの使用を検討しています。

この考えに従わないでください。カスタマーサービスに連絡した人のメールアドレスは、計画している目的以外の目的で収集されたものだからです。個人データがマーケティング目的で使用される可能性があることに明示的に同意したお客様のメールアドレスに限り、利用することができます。

4.7 ITセキュリティ

ITシステムを保護します

企業原則

私たちは、ITセキュリティを尊重し、適用される情報セキュリティ規則を遵守します。情報セキュリティ規則は、さまざまな雇用グループ向けのガイドラインを提供し、すべての従業員に関連しています。

私にできること

適用されるITセキュリティ規則をよく理解し、そこに含まれるルールを遵守します。私はITセキュリティ・チェーンの一員として、常に警戒を怠らず、基本的なITセキュリティ・スキルを常に最新の状態に保つことで、積極的に貢献しています。

例

あなたは外出先で、会議でドキュメントを交換するためにUSBスティックを渡されます。

USBスティックを業務用ラップトップに接続しないでください。私たちのデータ送信またはデータ交換システムのみを使用し、情報分類のガイドラインに従って進めてください。たとえば、文書がメールで送信されるように手配します。疑わしいと思われる電子メールや添付ファイル、または不明なメールアドレスからの電子メールや添付ファイルは絶対に開かないでください。これが、マルウェアが会社のネットワークに侵入するのを防ぐ方法です。

4.8 製品コンプライアンス

私たちは製品で世界をインスパイアします

企業原則

私たちの製品は、世界中の数えきれないほどの人々にインスピレーションを与えています。私たちは、製品の適合性と安全性を最優先します。これらの製品の使用に起因する健康、安全、環境、およびお客様または第三者の資産へのリスクを可能な限り防止する責任を、私たちは負っています。

法令に基づき、科学的知見から生じる追加的な安全性要件など、その他の拘束力ある義務を考慮しながら、最先端の技術に従って製品を開発しています。これは、確立された構造と安定したプロセスによって体系的に保証されています。市場に投入された後、私たちの製品は常に現場で監視され、不一致の可能性がある場合には適切な措置が迅速に講じられるようになっています。この点において、私たちはいかなる妥協もいたしません。

私にできること

私は日々の仕事において、すべての関連規定を注意深く遵守します。私は現実的な目標を設定します。もし目標に矛盾が生じることがあれば、時間やコストのプレッシャーに関係なく、製品の適合性を常に最優先します。そのため、私は定められたプロセスを受け入れ、継続的に改善しています。すべての拘束的義務を果たすために、私たちは共同でプロセスのギャップを特定し、それを埋めていきます。製品のコンプライアンスについて質問や懸念がある場合は、上司またはPCMSチームに連絡します。

例

あなたはあるお客様から、車両の技術的な問題について指摘を受けました。あなたは、その問題がお客様の操作ミスによるものなのか、製造または組み立ての欠陥によるものなのかはわかりません。

すぐに問題を明確にしてください。当社が責任を負う問題を確実に解決することが不可欠です。また、お客様側のエラーによる場合であっても、取扱説明書の修正やアプリケーショントレーニングなど、当社からの対応が必要になる場合があります。

4.9 環境保護

私たちは環境と持続可能性に責任を負っています



企業原則

グローバルな営利企業として、私たちは製品、拠点、サービスの環境適合性と持続可能性に責任を負っています。私たちの会社は持続可能なモビリティのグローバルプロバイダーであり、環境保護の模範となることを目指しています。私たちは、環境にやさしく、先進的で効率的な技術に重点を置き、製品のライフサイクル全体を通じてこれを実践しています。開発と生産の初期段階から、天然資源を慎重に管理し、環境への影響を継続的に低減し、環境保護に関する法律や規制を遵守することを徹底しています。

さらに、製品や製造プロセスの環境適合性を常に見直し、必要に応じて最適化を図っています。

私たちは社会の責任ある一員であり、政治のパートナーです。私たちは、未来のモビリティの概念やエコロジカルで持続可能な開発の形成について、これらのプレーヤーとの対話を求めています。

私にできること

私は業務において環境保護に留意し、資源とエネルギーを経済的かつ効率的に使用します。私は、自分の活動が環境に与える影響をできる限り小さくし、環境保護に関する法規制を遵守するようにします。

例

タンクに漏れがあり、かなりの量の化学物質が地下に浸透していることに気づきました。

直ちに担当従業員の一人に知らせ、注意喚起してください。誰かが報告してくれることを当てにしないでください。

サポート

行動規範への対応をサポートします。

不正行為の防止、窓口、内部通報制度

私たちのグループの行動規範は、私たちのグループ内でインテグリティをもって行動し、規程を遵守するための拘束力のある枠組みを提供するものです。フォルクスワーゲングループの従業員として、私たちには、規則違反を防止し、会社に損害を与えないために、行動規範の原則を尊重する責任があります。法律や社内規程に対する違反は直ちに調査されます。違反の重大性に応じて、関係する従業員に懲戒、民事、刑事上の結果をもたらす可能性があります。不正行為が証明されれば、報酬にも影響します。そのため、疑問や懸念がある場合、あるいは社内外の規則に違反する疑いがある場合は、直ちに上司に相談したり、専門家の助言を求めたりします。人事部がサポートを提供します。また、当社のコンプライアンスオフィサーまたはコンプライアンス相談窓口いつでも連絡することができます。

E-mail: compliance@vgj.co.jp

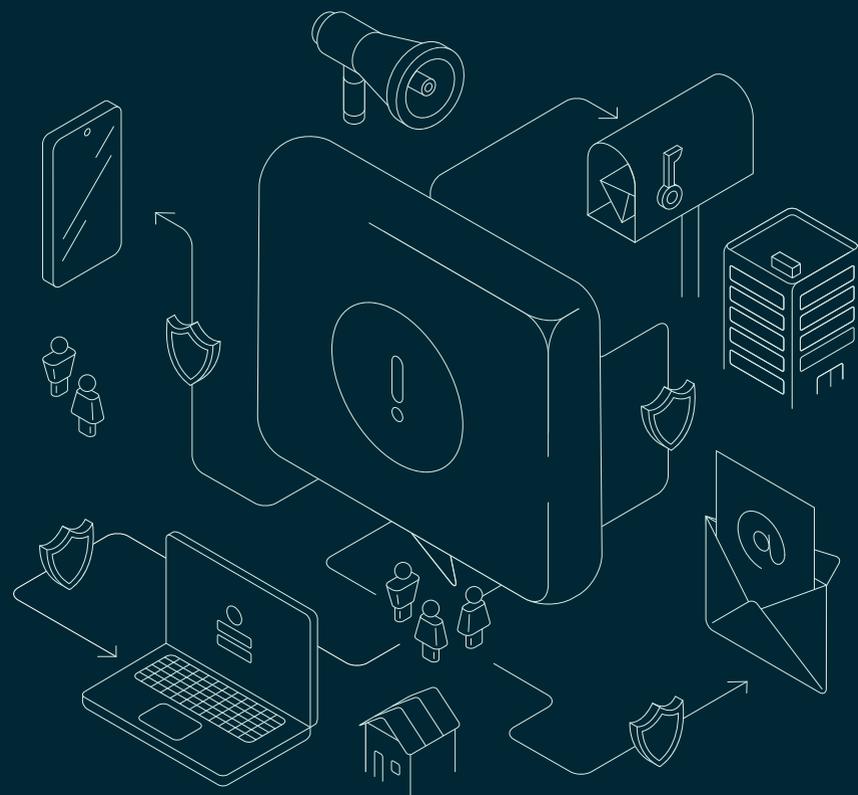
また、規制違反に関する通報については、フォルクスワーゲングループ内部通報制度を通じて報告することができます。記名でも、匿名で報告することもできます。

フォルクスワーゲングループ内部通報制度が重大な規則違反に関する報告を調査する責任を負っていることを、私たちは認識しています。

重大な規則違反は、行動規範に定められた私たちの倫理的価値観の重大な違反です。同様に、会社のレピュテーションまたは経済的利益に重大な影響を与える可能性のある法令違反も重大な規則違反となります。それ以外の場合は、まず上司、人事部門、またはコンプライアンスにアドバイスを求める必要があります。

管理職には、ロールモデルとしての特別な役割があります。管理職が会社のために下す決断は、常に価値観と規則に配慮したものでなければなりません。これには、重大な規則違反の具体的な兆候を示す合理的な疑いを直ちに報告することも含まれます。

内部通報制度の目的は、会社、通報者、および不正行為の調査と終結に貢献するすべての人を保護することです。これらの人々に対する差別は、それ自体が重大な規則違反となります。



同時に、内部通報制度は違反嫌疑対象者の利益を保護します。違反が証明されない限り、無実の推定が適用されます。内部通報制度の業務は、統一されたプロセスと秘密厳守、専門的な通報処理に基づいています。内部通報制度の濫用は容認されず、相応の処分を受けます。

直接・間接のサプライヤーによる重大なリスク、人権侵害、環境侵害など、ビジネスパートナーのための行動規範に違反する可能性のある行為も、中央調査オフィスに通報することができます。

内部通報制度には、以下の窓口から
アクセスできます。

調査オフィスの連絡先：

郵送先住所： Central Investigation Office
Box 1717
38436 Wolfsburg,
Germany

24時間対応・年中無休の
ホットライン： 03 6627 0734
組織コード: 122203

E-mail: io@volkswagen.de

オンライン
通報窓口： <https://goto.speakup.report/volkswagen>

(この窓口は匿名での通報にも利用可能)

アプリ：



組織コード：122203

対面： 事前にメールで予約してください
io@volkswagen.de

さらに、経験豊富な外部の弁護士が、中立的な調停者（オンブズパーソン）としての役割を果たします。オンブズパーソンは法律顧問として、法律違反の可能性、社内規則違反の可能性、またはフォルクスワーゲングループに損害を与えるその他の行為についての通報を受けることを任務としています。また、必要に応じて、通報者の身元が判明している場合で、通報者がフィードバックを求めている場合は、通報者に直接連絡します。準備が完了すると、オンブズパーソンは通報者と合意した情報を、通報者が希望する場合は匿名で、内部通報制度に転送し、処理を進めます。

オンブズパーソンの連絡先：

インターネット：
<https://www.ombudsmen-of-volkswagen.com>

フォルクスワーゲングループの内部通報制度、オンブズパーソン、および関連する外部通報窓口（該当する場合）に関する詳細情報は、次のインターネットページで入手できます。
<https://www.volkswagen-group.com/en/our-whistleblower-system-16041>

意思決定チェックのため の自己診断

自分自身の行動が個の行動規範に設定されている原則に従っているかどうか不明な場合は、次のような質問を自分に問いかけてみてください。

1. 関連する事項を全て考慮し、正しく比較検討しましたか？（内容チェック）
2. この意思決定は、法令および社内規程に違反していないと自信を持って言えますか？（合法性チェック）
3. この意思決定が公になった場合でも、それを支持できますか？（監督者チェック）
4. 同じような事例について、会社全体で同様の意思決定が下されることに賛成できますか？（普遍性チェック）
5. もし会社が公の場で説明を求められることになったとしても、この意思決定は正しかったと考えますか？（公開チェック）
6. もし私がこの決定によって影響を受ける立場だったとしても、納得できますか？（関与チェック）
7. 私の意思決定に対して、家族はなんというのでしょうか？（セカンドオピニオン）

問1～6に対する答えが「はい」であり、問7の答えが肯定的であれば、あなたの行動は私たちの会社の原則を順守している可能性が非常に高いです。答えられない質問がある場合、または疑わしい点がある場合は、この章に記載されている窓口に相談してください。

© フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

441-8550

愛知県豊橋市明海町5番地の10

第3.1版 | 2024年10月